

★ 小学3年生のみなさんにおすすめの本 ★



よんでみて!



習志野市立図書館

『スーホの白い馬』

大塚 勇三／再話 赤羽 末吉／絵 福音館書店 **Eア**

スーホは、おばあさんとふたりで、ひつじをかってくらしていました。ある夜、うまれたばかりの白い子馬をみつけ、たいせつに育てます。やがてスーホは、たくましく育った馬にのって、町のけいば大会に出ます。



『にぐるま ひいて』

ドナルド・ホール／文 バーバラ・クーニー／絵
ほるぷ出版 **Eク**

父さんは、この1年間にみんなが作り、育てたものを何もかもにぐるまにつみこんで、^{たび}旅に出ます。そう、市場に売りに行くのです。



『おばあさんのひこうき』

佐藤 さとる／作 小峰書店 **913サ**

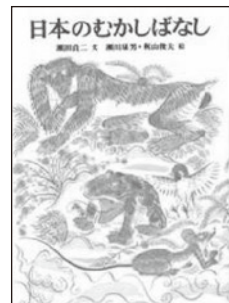
おばあさんはあみものが大好きです。ある日、ちょうのはねのもようのかたかけをあんでみようと思いました。ところがなかなかあめません。あもうとすると、かたかけがふわふわとうきあがるのです。そこでおばあさんはすてきなことを思いつきました。



『日本のむかしばなし』

瀬田 貞二／文 のら書店 **913セ**

「むかしむかし…」からはじまるおはなしは、声をだして読んでみると、ことばのリズムも楽しめます。この本の中には「花さかじい」や「三まいのおふだ」など13のおもしろいむかしばなしが入っています。



『いたずらおばあさん』

高樓 方子／作 フレーベル館 [913タ]

エラババ先生はえらいえらい洋服研究家です。長い間研究をかさねて、1枚着ると1歳わかくなる洋服を發明しました。エラババ先生と弟子のヒョコルさんはその服を何枚も着て、おばあさんから8歳の女の子に変身しました。



『ぼくは王さま』

寺村 輝夫／作 理論社 [913テ]

たまごが好きな王さまに、たまごのようにかわいい王子さまがうまれました。王さまは、おいおいのごちそうには、たまごやきがいいと思いました。そして、「ぞうのたまご」をとってこいと、めいれいをだしました。

おもしろい王さまのお話が4つ入った本です。



『ネコのタクシー』

南部 和也／作 福音館書店 [913ナ]

タクシードライバーのランスさんにかわれているネコのトムは、けがをしたランスさんのかわりにネコのタクシーをはじめました。ネコのタクシーはハンドルはついているけど、エンジンはついていません。エンジンのかわりに、トムが足をつかって走るのです。

※つづきに『ネコのタクシーアフリカへ行く』があります。



『くしゃみくしゃみ天のめぐみ』

松岡 享子／作 福音館書店 [913マ]

「くしゃみのおっかあ」のおすこ「はくしょん」は、おっかあのかくしゃみのせいでいつも村の人たちのわらいもの。でもそのくしゃみのおかげで思わぬしあわせが…。他にも、しゃっくりやおならなどにまつわるゆかいなお話が4つ入っています。



※ のなかのきごうは、せびょうしについているラベルです。

『みしのたくかにと』

松岡 享子／作 こぐま社 **913マ**

「あさがおかもしれない、すいかかもしれない、とにかくたのしみ」ふとっちょおばさんは、自分のにわに小さなたねをまき、そばにこんなふたな札めをたてました。どんな芽が出てくるのでしょうか。さて、ある日馬車ばしゅでにわの前をとおりがかった王子は札を反対から読みました。まるで何かのおまじないのようです。



『黒ネコジェニーのおはなし 1』

ジェニーとキャットクラブ

エスター・アベリル／作 福音館書店 **93ア1**

クロネコのジェニー・リンスキーはとてもはにかみや。キャット・クラブに入りたいけれど、ネコたちの前に出ていく勇気ゆうきがありません。あたしにも、なにかとくぎがあればいいのに！そこでジェニーはスケートの練習れんしゅうをはじめました。

※「黒ネコジェニーのおはなし」は3かんまであります。



『火曜日のごちそうはヒキガエル』

ヒキガエルとんだ大冒険 1

ラッセル・E. エリクソン／作 評論社 **93エ**

ヒキガエルのウォートンは、みみずくのジョージにつかまってしまいました。ジョージは今度の火曜日がたんじょう日で、ごちそうはヒキガエルと決めていました。さあ大変たいへん、ウォートンはどうなるのでしょうか。

※「ヒキガエルとんだ大冒険」シリーズは7かんまであります。



『エルマーのぼうけん』

ルース・スタイルス・ガネット／作 福音館書店 **93カ**

どうぶつ島にとらえられているりゅうを助けにぼうけんへ出たエルマー。しかしそこにはとらやサイやライオンなど恐ろしいどうぶつたちがたくさん！エルマーはちえをはたらかせて、前に進んで行きます。

※つづきに『エルマーとりゅう』『エルマーと16びきのりゅう』があります。



『ものぐさトミー』

ペーン・デュボア／文・絵 岩波書店 93テ・Eテ

トミー・ナマケンボは電気じかけの家にすんでいます。朝あおきてから、夜よるまで、食事もおふるに入るのもぜんぶきかいがめんどうをみてくれます。あるあらしの夜、トミーの家はいでんになり、きかいはとまってしまいました。やっと電気が通ると、大変なことが起こります。



『あたまをつかった小さなおばあさん』

ホープ・ニューウェル／作 福音館書店 93二

あるところに小さなおばあさんがいました。このおばあさんは大変びんぼうでしたが、あたまをはたらかせていろいろなもんだいを、おもしろおかしくかいつつてくらしていました。毎日をゆかいにおくる、おばあさんの心あたたまるおかしなお話。



『ビロードうさぎ』

マージェリィ・ウィリアムズ／文 童話館出版 93ヒ

おもちゃのビロードうさぎは、はずかしがりやで、じぶんがとてもつまらないものなのだと考えていました。でも、ほんとうにそうだったのでしょうか。子どもベヤには、ときどきふしぎなまほうが起こるものなのです。



『小さなスプーンおばさん』

アルフ・プリヨイセン／作 学研 94フ

ときどきティースプーンくらいにちっちゃくなってしまいうさぎおばさん。でもスプーンおばさんはそんなのへっちゃらです。ちえと工夫でどんなことでもなんとかしてしまいます。さて、今日は何が起きるのでしょうか。※つづきに『スプーンおばさんのぼうけん』『スプーンおばさんのゆかいな旅』があります。



『小さい魔女』

オトフリート=プロイスラー／作 学研 947

小さい魔女は127才のまだまだ若い魔女です。今夜は大きい魔女たちだけが集まる“ワルプルギスの夜”という特別な夜です。小さい魔女は、どうしても行きたくてたまりません。



『イソップのおはなし』

イソップ／原作 のら書店 991

この本には、イソップという人が作ったお話が55話入っています。「ウサギとカメ」など、きっとみなさんが知っているお話もあるでしょう。どれも短いので、すきなお話から読んでみてください。



『ちちんぷいぷい』

川崎 洋・木坂 涼／編 岩崎書店 911チ

「ちちんぷいぷい痛い痛いのとんでけー」小さな頃、ころんでひざ小僧をすりむいた時によくこう言ってさすってくれた思い出は誰にでもありますね。みんなが知っているおまじないや子守歌、わらべ唄、遊び歌がいっぱいつまっています。



『手で食べる?』

森枝 卓士／文・写真 福音館書店 59モ

料理を手で食べると、日本ではしかられてしまうことがありますね。でも世界にはいろいろな食べ方があるんです。食べ方のちがいをとおして、世界にはいろいろな国があることを感じることができます。



『絵ときゾウの時間とネズミの時間』

本川 達雄／文 福音館書店 481円

この本は大きな動物と小さな動物をくらべながら、生き物が生きる時間のことを考えさせてくれます。ネズミの一生は数年。ゾウの一生はネズミの何十倍。でも、一生に心臓がうつ回数を調べてみると…。



『ホネホネたんけんたい』

西澤 真樹子／監修・解説 アリス館 481円

ウサギの耳に骨はあるのかな？ヘビの骨はどうなっているのだろう。この本にはほかにも、ペンギンやコウモリなどいろいろな生きものの骨がしょうかいされています。さあ、ホネホネたんけんにしゅっぱーつ！

※シリーズで『ホネホネすいぞくかん』『ホネホネどうぶつえん』があります。



『雑草のくらし』

甲斐 信枝／作 福音館書店 47円

ある日、畑の一角があき地になりました。その日から、5年間、作者の甲斐信枝さんは雨の日も風の日も毎日このあき地にかよい、雑草のスケッチをつづけました。そしてできあがったのがこの本です。



『視覚ミステリーえほん』

ウォルター・ウィック／作 あすなる書房 14円

自分の目で見たものはぜんぶ本当のことだって言えるのかな？この本には、目の錯覚を利用した不思議な写真がいろいろのっています。きっとあなたもだまされてしまいますよ。



※ □ のなかのきごうは、せびょうしについているラベルです。

よろこそとしょかんつ!

はじめて本をかりるとき

じゅうしょ
住所の書いてあるもの(名ふだ、自分のところに来た手紙など)を持ってカウンターに来て下さい。「としょかん図書館カード」を作ります。

かりるとき

かりたい本と、図書館カードをカウンターに持って来て下さい。
1人**10さつ**まで**2週間**かりられます。
CD・DVDは**2点**まで**2週間**かりられます。

返すとき

カウンターに本を持って来て下さい。
図書館がお休みのときは、ブックポストに返すこともできます。

本が見つからないとき

図書館の人に聞いて下さい。
他にも、わからないことがあったらどんどん聞いて下さい。
かしだしちゅうの本は、よやくすることもできます。

おはなし会

絵本の読み聞かせや、楽しいおはなしをします。
日にちや、時間は「おはなし会のおしらせ」を見て下さい。

